

施策の体系

障がいの種別や程度にかかわらず、目標達成に向けて連携して取り組むことが障がいのある人等の生活を豊かにするという認識のもと、各施策を着実に進めます。

障がいがあってもなくても
“このまちで、「自分らしく」
住みつづけられる”ように、
長岡京市が障がいのある人
や家族、支援する人たちなど
と話しあって、まとめた計画
です。

平成28（2016）年度から
平成32（2020）年度までの
5年間で長岡京市がやって
いくこと、目指していくこと
を7つにまとめました。



障がい福祉の理念

前期計画までの本市の障がい福祉の
理念を踏まえて、以下のキャッチフレーズで示します。
長岡京市は、障がい福祉の理念について、市民にわかりやすく、
ともに追求していくための「まちのあるべき姿」として
上記理念を掲げ推進していきます。

自分らしく生きることのできる
住みたいまち 住みつづけたいまち 長岡京

理念の考え方

○「自分らしく生きることのできる」とは……
障がいのある人等が、その能力や個性を最大限に発揮して、楽しくいき
いきとその人らしく安心して暮らすことができるということを意味して
います。

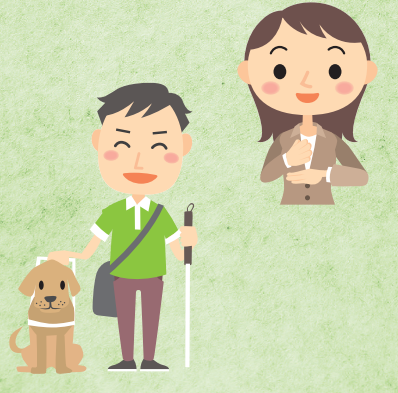
○「住みたいまち 住みつづけたいまち」とは……
必要なサービスが適切に利用でき、障がいのある人となない人がともに
「認めあい」「支えあい」「育ち」あって、「豊か」に暮らし、「学び」「働き」
「遊ぶ」ことができるまちであり、人々が「移り住みたい」「住みつづけたい」
と思う魅力があるまちを意味しています。

目標
1 ふれあい・わかりあい・
支えあうことができる

施策 1 ふれあいのまちづくり
施策 2 わかりあいのまちづくり
施策 3 支えあいのまちづくり

差別をなくし、生きやすい権利を
守るために

- ・障がいのある人もない人も、みんながお互いのことを大切にする社会を目指します。
- ・障がいを理由とした差別や虐待をなくしていきます。
- ・自分で決めることが難しい人のお手伝いをします。

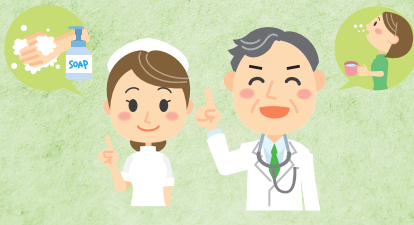


目標
2 保健・医療サービスの
安心がある

施策 4 疾病等の予防と早期発見・
対応
施策 5 心の健康づくりの推進
施策 6 医療・リハビリテーション
の充実
施策 7 難病のある人への支援の
充実

健康に暮らすために

- ・健康診断を受けやすくしたり、健康教室などを行い、病気の予防をします。
- ・デイケアや訓練をして、心や体の状態をより良くしていくことができるようにします。
- ・身近な地域で病院や歯医者に通うことができるようにします。
- ・お医者さんや看護師さん、病院と一緒に、障がいのある人やその家族を支えていきます。
- ・家族が、子どもの生まれる前や赤ちゃんのころから、障がいについて心配なことが相談できるようにします。



目標
3 子ども一人ひとりに合った
支援・教育等が得られる

施策 8 早期療育・発達支援の充実
施策 9 発達支援に関する相談体制
の充実
施策 10 疾病や発達に課題のある
子どもへの保育や教育の充実
施策 11 疾病や発達に課題のある
放課後児童への支援の充実

障がいのある、なしに関係なく、十分な
教育と一緒に受けられるようにします。

- ・必要な支援を受けながら、保育園や幼稚園に通えるようにします。
- ・一人ひとりにあった教育を受けられるようにします。
- ・学校に通いやすくしたり、先生たちが、障がいのことや関わり方を学べるようにします。
- ・子供が小さい頃から、家族が障がいについて相談したり、仲間づくりができるようにします。



目標
4 住み慣れた地域で
継続して生活できる

施策 12 自己決定を尊重した相談体制
の充実
施策 13 障がい福祉サービス等の充実
施策 14 住まいの確保
施策 15 地域生活を支える社会資源の
整備と活用
施策 16 緊急時のサポート体制の充実

地域での生活を支えるために

- ・障がいのある人が、いろいろ困ったことを相談できるようにします。
- ・相談を受けた人や福祉サービスを提供する人たちが、障がいのある人やその家族のことをよく知り、協力して支援できるようにします
- ・長岡京市で暮らすために必要な福祉サービスを用意します。
- ・入院や入所施設などにいる人が、施設から出て長岡京市で暮らせるようにします。
- ・学校を卒業したあとに通える施設を増やします。
- ・福祉サービスの内容がより良くなるように、内容の点検をして見直していきます。
- ・障がいがある人も、家族と一緒になくても、長岡京市で暮らせるようにグループホームを増やします。住んでいる家を住みやすい家にかえるようにします。
- ・「ユニバーサルデザイン」の考え方を広めて、誰もが安心して暮らし続けられるまちをつくりまします。
- ・バスやタクシーを使って出かける手助けをします。



目標
5 自分らしく
働くことができる

施策 17 雇用・就労の促進
施策 18 福祉的就労の充実

働きやすくするために

- ・仲間を作る、相談しやすい場を作るなど、いろいろな手助けを組み合わせ、障がいのある人が働くことを応援します。
- ・働きやすくするための訓練などを受けられるようにします。
- ・仕事をやめた人や、働く会社を変えたい人の相談にのります。
- ・いろいろな障がいのある人が働きやすくなるようにします。
- ・施設で作ったものがたくさん売れたり、売るところが増えて、工賃があがるようにします。
- ・働きやすくすることとあわせて、福祉手当や障がい年金など、生活のために必要なお金を受け取れるよう案内します。



目標
6 文化芸術・スポーツ活動を
楽しむことができる

施策 19 文化・芸術活動の活性化と推進
施策 20 スポーツ活動の振興

文化・スポーツを楽しむやすくする

- ・スポーツや芸術活動（絵を描く、演奏を聴くなど）、いろいろな趣味を、それぞれの人が楽しめるように、施設を整えたり、仲間づくりを応援します。



目標
7 安心・安全で便利な
生活環境がある

施策 21 ユニバーサルデザインの推進
施策 22 防災対策の推進
施策 23 権利擁護及び虐待防止の推進
施策 24 行政サービスにおける合理的
配慮
施策 25 情報アクセシビリティの向上

安心で安全に暮らすために

- ・近くに住んでいる人たちが知り合いになり、障がいのある人が困っていないか見守って、助ける仕組みを広げます。
- ・障がいのある人が安心・安全に暮らしていけるよう、災害に備えます。
- ・障がいがあることで話すことや書くことが難しいときに、お手伝いする人を増やしたり、お手伝いできる仕組みを整えます。
- ・だれでも簡単に情報を集めることができるよう、パソコンなどの機器を用意し、練習ができる場所をつくりまします。
- ・市役所からのお知らせは、だれにも分かりやすいようにします。
- ・自分の考えや気持ちを市役所などに伝えるために市役所の職員は、障がいのことを勉強して、理解して、お手伝いをしたり、市民に向けたお知らせを作ることに活かします。
- ・市役所などでの申し込みや手続き、選挙での投票ができるように、必要なお手伝いをします。

